



環境消毒について

R6.10.22大分県南部保健所

本スライドでは、すべて いらすとや さんのイラストを使用しています。

説明の前に…

【空間(空気)の消毒はやめてください！】



基本的に、空間(空気)の消毒は、あまり意味・効果がありません。
その上…



眼に入る(失明)



皮膚炎・手荒れ



呼吸器疾患



火災



お金かかる

あまり効果がない + デメリットが多い = やめるべき！

どうしてもしたいなら「**換気**」してください。

【空間(空気)の消毒はやめてください！】

新型コロナウイルスについて

WHO:「室内空間で日常的に物品等の表面に対する消毒剤の(空間)
世界保健機構 噴霧や燻蒸をすることは推奨されない」

「消毒剤を(トンネル内、小部屋、個室などで)人体に対して空間噴霧する
ことは、いかなる状況であっても推奨されない」

CDC:「消毒剤の(空間)噴霧は、空気や環境表面の除染方法としては
アメリカ疾病
対策センター 不十分であり、日常的な患者ケア区域における一般的な感染
管理として推奨しない」

厚労省:「消毒剤の有効かつ安全な空間噴霧方法について、
科学的に確認が行われた例はありません。」

「人がいる空間への次亜塩素酸ナトリウム水溶液の噴霧については、眼や皮膚
に付着したり吸入したりすると危険であり、噴霧した空間を浮遊する全てのウイル
スの感染力を滅失させる保証もないことから、絶対に行わないでください。」

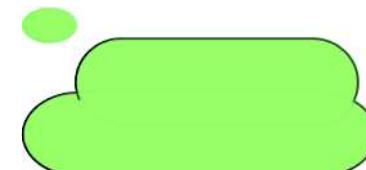
「空間の消毒」は、今すぐ、やめてください！

環境を消毒をする際の大前提

各種消毒は、あくまで

「見える汚れを除去した上で消毒する」が大前提。

- ・トイレで便が付着したまま消毒する
- ・嘔吐物が残っている状態で消毒する
- ・痰が付着した状態で消毒する



除去後に
消毒する！



まず「汚れを物理的に取り除く」ことが重要。

残存した菌・ウイルスを殺菌・消毒する。

ノロウイルス	新型コロナ インフルエンザ 腸管出血性大腸菌 薬剤耐性菌(VRE, CRE)
--------	---

热水 (温度に注意)		
次亜塩素酸ナトリウム ハイター、ブリーチなど (濃度に注意)		
エタノール(アルコール) (濃度に注意)		
第4級アンモニウム塩 塩化ベンザルコニウム(オスバン)等 (濃度に注意)		
(参考) ハンドソープで手洗い (物理的に除去)		

主な消毒方法は、熱と薬剤

1. 熱による消毒

- **80°C～(病原体によって温度は異なる)の熱水**
ノロウイルスは85°C以上で1分以上
※洗えるものに利用可能
(給湯器のお湯だと温度が低いため、沸騰させたお湯で)

2. 薬剤による消毒

- 消毒用エタノール
- 次亜塩素酸ナトリウム 等
 - ※ 薬剤は使用方法(濃度・用途など)を守る
 - ※ 先に汚れを落としてから、殺菌する

①消毒用エタノール

- ・70%以上95%以下のエタノール

- ・市販されているアルコール製品の中には、70%未満の物もあるので注意。
(その場合、「消毒用」とは記載されていないので、使用前に確認してください。)



「70%以上」を確認してください！

(これより濃度が薄いと、効果も薄いです。)

①消毒用エタノール

取り扱い時の注意点

- ・ ノロウイルスには、効果がない！
- ・ 火気厳禁
- ・ 汚れが残っていると効果が弱い
- ・ 水分が残っていると効果がない



ぬれた手には
消毒効果がない。



②次亜塩素酸ナトリウム

- ・塩素系漂白剤
- ・商品名は「ハイター」、「ブリーチ」等
- ・概ね、原液は5% (50,000ppm) 程度
- ・消毒対象・用途により、薄めて使用する



	ノロウイルス	新型コロナ インフルエンザ 腸管出血性大腸菌 薬剤耐性菌 (VRE, CRE)
嘔吐物・便 などの付着場所	<u>0.2%以上</u> (<u>2,000ppm</u> 以上)	0.02%以上 (200ppm以上)
ドアノブ、手すり	0.02%以上 (200ppm以上)	0.02%以上 (200ppm以上)

ノロウイルスの場合

消毒液の作成方法(原液濃度5%使用)

対象物・濃度 作りたい量	嘔吐物・下痢便等	ドアノブ・手すり等
	0.2%(2000ppm)	0.02%(200ppm)
500ml (0.5リットル)	20ml+水480ml	2ml+水498ml
1000ml (1リットル)	40ml+水960ml	4ml+水996ml
2000ml	80ml+水1920ml	8ml+水1992ml
3000ml	120ml+水2880ml	12ml+水2988ml
4000ml	160ml+水3840ml	16ml+水3984ml
5000ml (5リットル)	200ml+4800ml	20ml+水4980ml

次亜塩素酸ナトリウムの希釀方法（計算式）

作りたい量 (ml) × 作りたい次亜塩素酸ナトリウム液の濃度 (%/100)

原液の次亜塩素酸ナトリウム液の濃度 (%/100)

水に加える

原液の量 (ml)

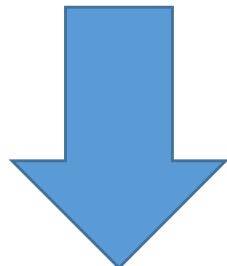
0.2%の濃度の消毒液の作り方(2L) 例

5%次亜塩素酸ナトリウム液80mL

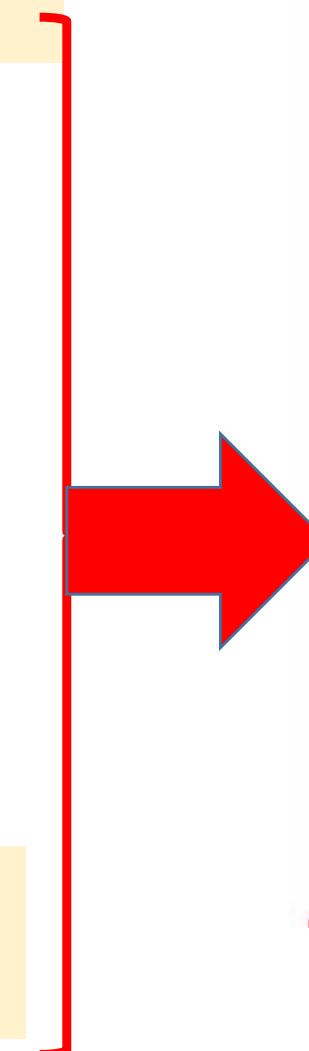
||



ペットボトルのふた
約16杯分



2Lペットボトルに上記の量を
入れた後、水を入れて希釀する



(例) 2Lの調製であれば、
あらかじめ80mlの位置に
ラインを入れておくと、
作る時に簡単です

②次亜塩素酸ナトリウム

取り扱い時の注意点

○換気をする



○手袋、マスクを着用する

○次亜塩素酸ナトリウムで清拭後、水拭きをして
乾燥させる

(水拭きをしないと、変色や金属のさびの原因になる)

必ず換気！



②次亜塩素酸ナトリウム

取り扱い時の注意点

○口の近くで噴霧しない(吸引すると有害)



○光や高温に不安定なので、薄めた液の作り置きは
避ける
(冷暗所保存では2週間程度使用可能)



←アルミホイル
などで覆う

○「混ぜるな危険！」他の薬剤と併用しないこと！
酸性のものと混ぜると塩素ガスが発生して危険！



適切な消毒で
感染症対策を実施してください

